

データベース設計論 第6回 演習

今日もまたまた問合せ文ドリルです。今回は **SQL** 文を考えましょう。
(多分今回も宿題ベースになるでしょう ^^)

【初級編】

1. groupwork をしている学生数を学年ごとに求めましょう

```
SELECT s.grade, count(*)  
FROM students s  
GROUP BY s.grade
```

2. groupwork をしているチーム数を求めましょう

```
SELECT count(*)  
FROM teams t
```

3. 複数のチームに属している学生の名前を求めましょう

```
SELECT s.name  
FROM students s, members m  
WHERE s.stid = m.stid  
GROUP BY s.stid, s.name  
HAVING count(*)>1
```

【コメントチェック編】

4. 課題番号 1 の提出物についてのコメントの総数をチームごとに集計しましょう

```
SELECT t.name, count(*)  
FROM comments c, works w, teams t  
WHERE c.wid = w.wid and t.teamid = w.teamid and w.exid = 1  
GROUP BY t.teamid, t.name
```

5. コメントを付けた数の多い順に学生名とコメント数を求めましょう

```
SELECT s.name, count(*)  
FROM students s, comments c  
WHERE c.stid = s.stid  
GROUP BY s.stid, s.name  
ORDER BY count(*) DESC
```

【アカウント管理編】

6. （応用編）集約演算を利用して、アカウント登録の重複（**g** をつけたものとつけてないものが両方含まれていたり、登録間違いで複数入れたりするアカウント）をできるだけ検出する問合せを書いてみましょう。

※以下の関数を **SELECT** 節（**GROUP BY** でも）で使えます。

substr(<属性>,<開始場所>,<抽出する文字数>) :

文字列を部分的に抽出する関数。開始場所が負の場合、後ろから数えた位置になる。

例) **substr(std, 2,3)** std を最初の 2 文字目から 3 文字分抽出する

substr(std,-5,2)std を後ろから 5 文字目から 2 文字分抽出する

解答例 1) 学籍番号の下 7 桁が同じであるアカウントを見つける

解き方：学籍番号の下 7 桁を **substr** で抽出しその値で **GROUP BY** する
HAVING で **count** が 2 以上のアカウントだけを選択する。

```
SELECT substr(std,-7,7), count(*)  
FROM students s  
GROUP BY substr(std, -7,7)  
HAVING count(*)>=2
```